

血圧降下剤

日本標準商品分類番号 872149

処方箋医薬品^(注) 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

日本薬局方 ドキサゾシンメシル酸塩錠

ドキサゾシン錠0.5mg「NS」 ドキサゾシン錠1mg「NS」 ドキサゾシン錠2mg「NS」 ドキサゾシン錠4mg「NS」

DOXAZOSIN TABLETS「NS」

先発医薬品名: カルデナリン®錠0.5mg/錠1mg/錠2mg/錠4mg[ヴィアトリス製薬]



●個装箱・PTPシートは25%縮小です。



錠0.5mg [PTP:10錠シート] L:85.3mm×W:34mm 錠1mg [PTP:10錠シート] L:84.5mm×W:31mm 錠2mg [PTP:10錠シート] L:84.5mm×W:31mm 錠4mg [PTP:10錠シート] L:85.3mm×W:34mm

●錠剤は実物大、PTPシートは60%縮小です。

最新の電子化された添付文書(電子添文)は専用アプリ「添文ナビ」よりGS1データバーを読み取りの上、ご参照ください。

(01)14987081183927

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者



第一三共エスファ株式会社

URL <https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>

[お問い合わせ先及び文献請求先]

第一三共エスファ株式会社 お客様相談室

☎ 0120-100-601 受付時間: 平日9:00~17:30 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

[夜間・休日 緊急時のお問い合わせ先]

日本中毒情報センター第一三共エスファ受付

☎ 0120-856-838 受付時間: 平日17:30~翌9:00及び土・日・祝日・弊社休日

2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

3. 組成・性状			10. 相互作用		
3.1 組成			10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
販売名	ドキサゾシン錠0.5mg「NS」	ドキサゾシン錠1mg「NS」	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
有効成分	1錠中 日本薬局方ドキサゾシンメシル酸塩 0.607mg (ドキサゾシンとして0.5mg)	1錠中 日本薬局方ドキサゾシンメシル酸塩 1.21mg (ドキサゾシンとして1mg)	利尿剤又は他の降圧剤	相互に作用を増強するおそれがあるので、減量するなど注意すること。	相互に作用を増強するおそれがある。
添加剤	乳糖水和物、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ラウリル硫酸ナトリウム、デンプングリコール酸ナトリウム、含水二酸化ケイ素、ステアリン酸マグネシウム	乳糖水和物、結晶セルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、ラウリル硫酸ナトリウム、ボビドン、クロスボビドン、ステアリン酸マグネシウム	ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤 バルデナフィル塩酸塩水和物 タダラフィル シルデナフィルクエン酸塩	併用によりめまい等の自覚症状を伴う症候性低血圧を来したとの報告がある。	血管拡張作用による降圧作用を有するため、本剤の降圧作用を増強することがある。
3.2 製剤の性状			11. 副作用		
販売名	ドキサゾシン錠0.5mg「NS」	ドキサゾシン錠1mg「NS」	次の副作用 ^(注) があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。		
性状	白色の素錠	白色の片面割線入りの素錠	11.1 重大な副作用		
外形			11.1.1 失神・意識喪失 (0.01%)		
大きさ	錠径：6.1mm 錠厚：2.7mm 重量：90mg	錠径：7.0mm 錠厚：2.7mm 重量：120mg	起立性低血圧によることが多いので、このような症状があらわれた場合には投与を中止し、仰臥位をとらせるなど適切な処置を行うこと。		
識別コード	NS 500	NS 507	11.1.2 不整脈 (頻度不明)		
販売名	ドキサゾシン錠2mg「NS」	ドキサゾシン錠4mg「NS」	11.1.3 脳血管障害 (頻度不明)		
性状	淡いだいだい色の片面割線入りの素錠	白色の片面割線入りの素錠	11.1.4 狭心症 (頻度不明)		
外形			11.1.5 心筋梗塞 (頻度不明)		
大きさ	錠径：7.0mm 錠厚：2.7mm 重量：120mg	錠径：8.1mm 錠厚：3.1mm 重量：200mg	11.1.6 無顆粒球症、白血球減少、血小板減少 (いずれも頻度不明)		
識別コード	NS 508	NS 509	11.1.7 肝炎、肝機能障害、黄疸 (いずれも頻度不明)		
4. 効能又は効果			11.2 その他の副作用		
○高血圧症 ○褐色細胞腫による高血圧症			臓器	0.1～1%未満	0.1%未満
6. 用法及び用量			肝臓	AST、ALT、Al-Pの上昇	LDHの上昇
通常、成人にはドキサゾシンとして1日1回0.5mgより投与を始め、効果が不十分な場合は1～2週間の間隔を置いて1～4mgに漸増し、1日1回経口投与とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最高投与量は8mgまでとする。ただし、褐色細胞腫による高血圧症に対しては1日最高投与量を16mgまでとする。			循環器	起立性めまい、起立性低血圧、低血圧、動悸・心悸亢進、頻脈、はてり (顔面潮紅等)	胸痛・胸部圧迫感
8. 重要な基本的注意			精神・神経系	めまい、頭痛・頭重、眩暈	耳鳴、興奮、振戦、知覚鈍麻、不安、うつ病、神経過敏
8.1 起立性低血圧があらわれることがあるので、臥位のみならず立位又は坐位で血圧測定を行い、体位変換による血圧変化を考慮し、坐位にて血圧をコントロールすること。			消化器	悪心・嘔吐	腹痛、口渇、食欲不振、下痢、便秘
8.2 本剤の投与初期又は用量の急増時等に、立ちくらみ、めまい、脱力感、発汗、動悸・心悸亢進等があらわれることがある。その際は仰臥位をとらせるなどの適切な処置を行うこと。また、必要に応じて対症療法を行うこと。			筋・骨格系		関節痛、筋力低下、筋痙攣、筋肉痛、背部痛
8.3 本剤の投与初期又は用量の急増時等に起立性低血圧に基づくめまい等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う作業に従事する場合には注意させること。			呼吸器	息苦しさ、鼻出血、鼻炎、咳	気管支痙攣悪化、呼吸困難
9. 特定の背景を有する患者に関する注意			泌尿・生殖器	頻尿・夜間頻尿、尿失禁	持続勃起、勃起障害、射精障害 (逆行性射精等)、血尿、排尿障害、多尿
9.3 肝機能障害患者			過敏症	発疹、そう痒感	蕁麻疹、血管浮腫、光線過敏症
9.5 妊婦			血液	白血球減少	血小板減少
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。胎児器官形成期投与試験にて、ラットへの120mg/kg投与及びウサギへの100mg/kg投与により胎児死亡率の増加が報告されている。			眼		かすみ目、術中虹彩緊張低下症候群 (IFIS)
9.6 授乳婦			その他	倦怠感	浮腫、脱力感、異常感覚、発熱
治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。ヒト母乳中への移行が報告されている。			注) 使用成績調査を含む。		
9.7 小児等			13. 過量投与		
小児等を対象とした臨床試験は実施していない。			13.1 症状		
9.8 高齢者			過量投与により低血圧を起こす可能性がある。		
低用量から投与を開始するなど患者の状態を観察しながら慎重に投与すること。脳梗塞等が起こるおそれがあることから、一般に過度の降圧は好ましくないとされている。			13.2 処置		
			本剤は蛋白結合率が高いため、透析は有用ではない。		
			14. 適用上の注意		
			14.1 薬剤交付時の注意		
			PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある。		
			15. その他の注意		
			15.1 臨床使用に基づく情報		
			α ₁ 遮断薬服用中又は過去に服用経験のある患者において、α ₁ 遮断作用によると考えられる術中虹彩緊張低下症候群 (Intraoperative Floppy Iris Syndrome) があらわれるとの報告がある。		
			22. 包装		
			<ドキサゾシン錠0.5mg「NS」> 100錠 [10錠 (PTP) × 10]		
			<ドキサゾシン錠1mg「NS」> 100錠 [10錠 (PTP) × 10]		
			<ドキサゾシン錠2mg「NS」> 100錠 [10錠 (PTP) × 10]		
			<ドキサゾシン錠4mg「NS」> 100錠 [10錠 (PTP) × 10]		